

# 図書館だより 第2号

S. 63. 9. 30

神戸大学附属図書館医学部分館

## 医学部分館の将来像

医学部長 杉山武敏

医学部分館は China medical boardの寄附により、昭和37年7月に我国では最初の、独立した医学図書館として建設され、画期的なものとして見学者も絶えなかった。小生も竣工当時、上田前法医学教授を訪ねた時に案内された覚えがある。その往時の華やかな歴史も今は見る影もない。

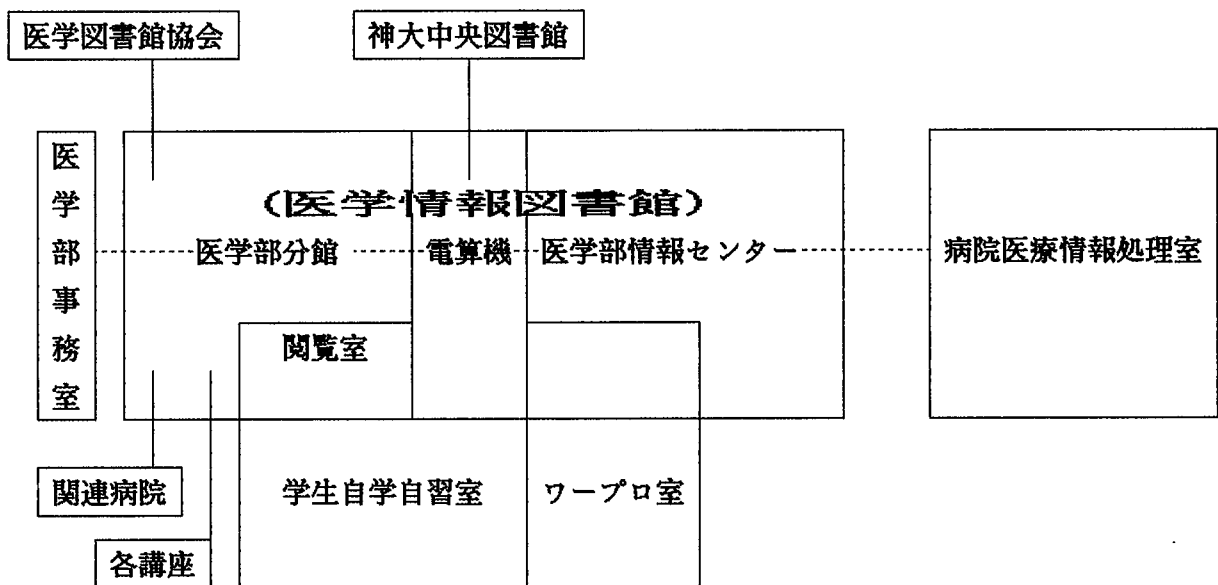
昭和54年6月にまとめられた附属図書館構想で、人文社会科学系図書館と自然科学系図書館よりなる中央図書館が成立した。医学部分館の将来像は、教養部分館、教育学部分館の将来像とともに積み残しになっている。以来9年が過ぎ、医学部分館の改築が楠地区の長期整備計画では昭和66年度に予定されている。このために医学部分館構想の再検討を昭和64年内に終了する必要がある。分館は人文社会系、自然科学系図書館と並ぶ3大専門図書館の1つである。人文社会系、自然系とは異なる専門分野の蔵書を持っていること、医学図書館協会に属し、大阪大学中之島分館からサービスを受けることが多い。医学、医療のために内外雑誌を中心とする最新情報を学内外に提供する特殊な業務を持つ。利用者も図書館規模も大きく、キャンパスが離れていて独立面が強いなどの理由からである。従って3大専門図書館の1つとして、また、分館として独自の線をとれるようにするべきである。

昭和64年に始まると予想される臨床研究棟とRI施設の建築に続いて医学部本館あとに事務棟とともに建築されるとすると、図書館が1-2階、事務室が3階に同一建物に含められ、3階で病院事務、基礎校舎をブリッジでつなぐ可能性がある。山鳥分館長は図書館は独立棟にする必要があると主張される。土地の有効利用、病棟改築計画、申請の時期の調整もからむ、今後の問題である。医学部情報センターとも連携するのが妥当と考えられるので、図のように全体を構想している。このような医学情報収集の中心になる図書館の名称としては“医学情報図書館”の名称がふさわしいが、公的には“図書館”の名称は使えないようである。

現時点での緊急課題は改築に先立って図書の電算化計画を促進することである。プログラムが悪いためか、すでに本部で作られた貸出・返却プログラムは使用出来ないという。多くの大学や公共図書館が電算化されている時代に、うちだけが進んでいないのは問題である。また、電算化は全ての業務について省力を前提として進める必要がある。入門チェックも磁気カード式にし、図書・雑誌の購入、受入、登録の電算化も進め、さらに、貸出・返却業務、検索、教室系書籍・雑誌の所在検索も加えて、改築の2年前から作業に入ることが必要である。

その他、教室から端末による文献検索を行い、2次資料にはCDを利用し、ファクシミリによる他大学からの文献収集を迅速化し、関連病院から文献検索を可能とするなどの機能を持たせる。地域からの財政、人的援助を受ける必要もある。著作権の問題があるが、他大学、自然科学系図書館で実施されている書庫内でのセルフサービス・コピーの実施、レファレンス・サービスの強化、学生の自習室の整備による閲覧室の拡張、教室所属の雑誌、書籍の整理収納、新刊雑誌の購入、夜間開館延長、アルバイト経費の利用、外国人アルバイトによる翻訳相談の受付け、AV資料の製作編集業務の受注と外注、雑誌の編集業務、印刷・出版業務の事務室との一本化など、懸案の問題を同時に解決したいと考えている。

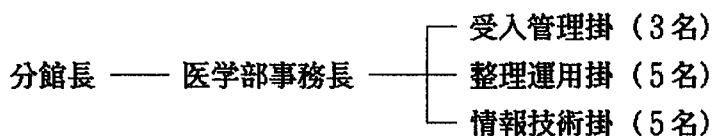
このように、2-3年後に迫る図書館改築に向けて、学部構成員の積極的な参加が必要である。内外の各大学、施設を訪問するさいに、多くの事例の写真や資料として集めて、今後活発になると予想される図書館改善論議に反映させ、図書委員会も活発な討論を開始して戴きたい。(昭和63. 9. 16)



## B. 附属図書館医学部分館のご案内

第1号に引き続いて神戸大学附属図書館案内のうち、附属図書館医学部分館をご案内します。

(1) 機構と構成員は次のとおりです。



### 図書館運営委員会

規程上の委員会ではありませんが、年度毎に各講座から1名選出され、予算・決算をはじめ図書館運営のための基本事項の審議の他、図書館に関するあらゆる意見を各講座から集約することを目的として組織されています。より有効な図書館運営を図るため早い機会に規程に則った委員会として機能することが望まれます。

### 図書選定委員会

図書館運営委員のうち、基礎講座の生理系、病理系及び社会医学系から各1名、臨床講座の内科系及び外科系から各1名、合計5名を分館長が推薦し、図書館運営委員会で承認を求めて組織されます。

図書館備付の図書館資料について選定作業を行います。

### 学生図書委員 (1名)

学生経費で購入する学生用図書の選定に当たって各講座間の連絡・調整を行っています。

## (2) 分館における掛とその役割

こんなときにはこの掛をおたずね下さい。

### ○ 受入管理掛 (内線3101)

- \* 図書、雑誌を購入するとき
- \* 図書、雑誌を寄贈するとき
- \* 雑誌 (購入・寄贈・交換) の到着状況が知りたいとき
- \* 雑誌等を製本するとき
- \* 図書館に備付を希望する図書、雑誌があるとき
- \* 図書館運営委員会、図書選定委員会等について知りたいとき
- \* 図書館に関する統計について知りたいとき
- \* 図書館関係の予算・決算について知りたいとき
- \* その他図書館に対する意見、要望等があるとき

### ○ 整理運用掛 (内線3102)

- \* 図書、雑誌の整理状況について知りたいとき
- \* 図書、雑誌の貸出状況について知りたいとき
- \* 図書、雑誌の所蔵状況について知りたいとき
- \* オンライン文献検索をしたいとき
- \* レファレンスワーク (参考調査) による助力を必要とするとき

- \* 集会室を利用したいとき
- \* 入館者の呼出をしたいとき
- \* 図書館利用の仕方について知りたいとき
- 情報技術掛（内線3103-3105）
  - \* 図書館内で文献複写をしたいとき
  - \* 他学部図書館、他大学図書館へ文献複写を依頼したいとき
  - \* 講義資料、実習書、試験問題等大量に複製をしたいとき
  - \* 教育・研究用スライド、ポジフィルムの制作が必要なとき

### (3) 図書館員の紹介

- 受入管理掛：掛長 山西勝也      主任 池川 敏      掛員 吉田富江
- 整理運用掛：掛長 後藤 登      掛員 藤 修子、平谷春美、京奥真弓、藤井員幸
- 情報技術掛：掛長 敏安秀夫      掛員 川辺康親、太田 仁、岩本愛子、今井寿美子

## C. 分館からのお知らせ

### (1) 夜間開館時間を延長します。

来る10月3日より夜間開館を従来より1時間延長して午後8時迄とします。従って、分館の開館時間は次のとおりになります。

平日（月-金） 午前9時 - 午後8時  
 土曜日            午前9時 - 午後5時  
 但し8月は  
 平日（月-金） 午前9時 - 午後5時  
 土曜日            午前9時 - 午後3時

### (2) 他大学、他機関の情報検索システムが新しく利用可能になります。

従来オンライン文献検索システムとして利用してきましたJOIS（科学技術情報センター）のデータベースからCA Searchが切り離されたことに伴い、新しく東京大学、筑波大学及び学術情報センターに対しデータベースの利用申請を行いました。従って、JOISに加えて次の情報検索システムもご利用いただけます。但し、経費の支払は公費に限られます。

- ① TOOL-IR/ORION（東京大学）
- ② UTOPIA（筑波大学）
- ③ NACISIS-IR（学術情報センター）